

東京に今も伝わる生きた遺産の江戸東京野菜

江戸東京・伝統野菜研究会 大竹道茂

江戸東京野菜とは

日本産業遺産学会から講演依頼があった。江戸東京野菜は、産業の中の産物で、学会の方々に知って頂く良い機会なのでお引き受けしました。

江戸東京野菜は、江戸期から今日の東京の時代まで、野菜の命が伝わってきた野菜で、しかも江戸から東京の地域名などが付けられている野菜です。今日、皆さんが食べている野菜のほとんどは、種苗会社が作り上げた一代雑種の交配種です。伝統野菜は揃いが悪く、ダンボール流通には向かないので、揃いを良くした交配種が作られています。交配種は種が採れないか、採れても同じものができることから、栽培するには同じ種を購入するしかありません。伝統野菜を復活する取り組みは、全国的に行われていますが、今日農業振興政策は各県ごとに行われていて、江戸東京野菜も東京都の農業振興策の中で行われており、東京23区から多摩地区、そして島嶼地区を含めて、江戸期より栽培されてきた固定種の野菜を、江戸東京野菜と呼んでいます。

江戸の代表的な野菜は、練馬大根です

五代将軍の綱吉が、将軍になる前の右馬頭（うまのかみ）の時代、江戸で脚気になり、陰陽師のお告げで下練馬に屋敷を建てて養生をしました。練馬の農家は貧しい生活をしていて、尾張から大根の種を取り寄せて蒔かせたところ、長くて立派な大根が収穫できました。北区、板橋区、練馬区は城北と呼ばれ、富士山の火山灰土が深く堆積した地域で、練馬大根1m、滝野川ゴボウ1m、滝野川ニンジン1mと、長いものが収穫されていました。右馬頭は2年ほどで体調がよくなり、江戸城に戻りましたが、良い大根が出来たら献上するようにと告げています。農民たちは栽培に励んだことで、練馬は大根の産地になり、沢庵漬けにして売り出しました。大きな練馬大根の沢庵漬けは、江戸の特産物として市民の食生活に欠かせないものになりました。



練馬大長尻大根（日本農林社）、たまに大きな大根が採れることがある

江戸で生まれた根深ネギの栽培技術

江戸の初期に、摂津の落人が砂村に入植した際、葉ネギを持ち込んでいます。葉ネギを栽培していたある年の冬、霜枯れ病で葉が枯れてしまった。がっかりした農民は、枯れたネギを抜いて穴を掘って捨て、火を付けて燃やしました。すると良い匂いがするので、焼けた根元（茎盤部）付近をかじってみて甘いことを知る。関西ではネギの葉を食していたから初めて知った味で、それから根深にする栽培技術、土寄せを生み出しました。

その後、砂村ネギは千住市場にも出荷され、千住ネギとして普及されました。ネギの苗は葉ネギ状態で、根深ネギにするには土寄せの技術が必要で、根深ネギの栽培技術は千住市場から周辺産地に伝わっていきました。

江戸時代のナスは硬かった。

江戸っ子は晩春から初秋の野菜として、ナスは大好きで、国芳が描いた駒込のなすは、世話女房が巾着ナスを剥いています。隅田川沿いの寺島村で栽培されていた寺島ナスは小振りな硬いナスです。また、雑司が谷で、栽培されていた雑司ヶ谷ナスは山ナスで、このナス武蔵野台地で栽培されていたもので、江戸市中から見ると武蔵野台地は山と呼ばれていました。中野村（現中野区内）の名主堀江家が山ナスを栽培し、江戸城内の菜園に納品していました。江戸東京野菜としては中野中生（なかくて）山ナスとして復活を果たしました。これら、江戸のナスは、今日のふかふかの



国芳の江戸じまん名物くらべ「駒込のなす」（画像左）と「砂村のとうなす」

ナスと比べると硬くて、加熱するととろみが出てどれも美味しいナスです。

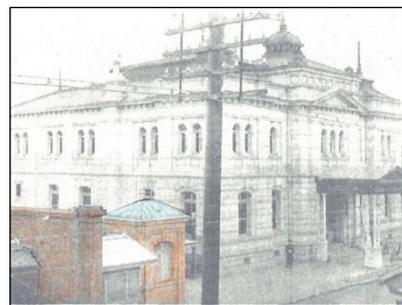
絶滅する野菜に、発見される野菜

現在探している国芳が描いた「砂村のとうなす」、調べてみると大正 6 年10月 1 日に東京を襲った台風による高潮で、砂村の農地は海水による冠水で塩分を含み、その後、「砂村のとうなす」は栽培された記録はありません。当日の新聞には、深川や本所で多くの死者が出たと掲載されています。

2010年に早稲田ミョウガが、早稲田の民家で発見されました。2021年には、三鷹市で江戸時代の絶滅したワサビが発見されました。大都会の中に伝統野菜が生きていたもので、現在ブログ「江戸東京野菜通信」で日々情報を発信しています。ご覧ください。

茨城県水戸市の赤煉瓦建造物(4) 「旧川崎銀行水戸支店の煉瓦塀」

水戸市泉町の国道50号線沿いにある白い石造りの外壁やアーチ型の窓枠がある洋風な建物が三菱 UFJ 銀行水戸支店の建造物である。この本格的な洋風の建物は 1909(明治 42)年、川崎銀行水戸支店として竣工した。写真(上)は完成後に撮影された川崎銀行水戸支店の風景(2018年 2月23日読売新聞掲載)である。屋根の部分にドーム状の部分が見える。また、玄関の上部に雨よけのひさしがある。上の写真(一部着色加工)の左側下部に守衛所と見られる煉瓦造の建物が見える。その左側に高い煉瓦造の外壁ははっきりと写っている。



川崎銀行が設立されたのは 1880(明治 13)年、水戸藩の勘定方を務め、藩の財政改革に取り組んだ初代川崎八右衛門が設立した銀行で、川崎財閥の基になった銀行である。東京日本橋区に本店を置き、明治末期には既に有力な銀行に発展し、関東地区では東京、茨城、千葉、関西地区では大阪市を中心に支店を置き、全国で支店・出張所・代理店をあわせて 48 店で営業していた。(出典：昭和 6 年頃の株式会社川崎貯蓄銀行営業案内による。)



煉瓦造を見て歩くのを趣味としている筆者は、近くの石岡支店、佐原支店、佐倉支店を訪問した。3 支店は赤煉瓦造 2 階建てで、ルネサンス様式を特徴とした建造物であった。石岡支店の煉瓦造は他の支店よりも小ぶりであり、民間の館野亭太郎邸になっていた。佐原支店は 1943(昭和 18)年三菱銀行と合併し三菱銀行佐原支店となったが、1989(平成元)年に銀行の新店舗が完成したことに伴い、旧店舗は香取市に寄贈された。佐倉支店は 1918(大正7)年に建設され、1942(昭和 17)年に佐倉町役場となった。市政により市役所となり、現在は市民ギャラリーとなっている。

川崎銀行は昭和の大恐慌で 1927(昭和2)年に第百銀行と合併。その後、太平洋戦争の激化に伴い、第百銀行は 1943(昭和 18)年に三菱銀行と合併し、三菱銀行へと変わった。三菱銀行水戸支店は米軍の空襲で被害を受け、石造りの外壁と金庫だけが残り、自慢の屋上のドームや内部はすべて焼失した。その後、三菱銀行が改装し銀行業務を再開し、行名も変わり三菱 UFJ 銀行水戸支店として営業していたが、2019(平成 31)年 2月18日から国道50号をはさんで第二中央ビルに移転し営業を開始した。

三菱銀行 UFJ 銀行(旧川崎銀行水戸支店)の跡地がどうなるか市民は興味深く見守っていた。2021(令和3)年 4 月哲文化創造一般法人(福田三千男理事長)が銀行の建物を改修し、美術館を核とする複合施設「テツ・アートプラザ」を開設と発表した。現在改修中であり 2025 年秋のオープンを目指して工事中である。下の写真は筆者が 2018 年 9 月 9 日赤煉瓦探訪のため水戸市を訪問した時撮影したもので、銀行本館の建物の裏側にある煉瓦塀の一部である。煉瓦は地元で焼成したと伝えられている。煉瓦塀がどうなるか不明であるが一部分でも残してもらいたいと願っている。

川崎銀行水戸支店は建築家新家孝正(にいのみ たかまさ)が設計及び施工を監督している。新家孝正は工部大学校第 4 期生として入学、1882(明治15)年工部大学校造家科を卒業した。渋沢栄一が創設した第一銀行の上棟式は 1901(明治34)年举行された。辰野金吾が設計し、新家孝正が建設の監督をした。辰野金吾は新家孝正の実力を認めていたようであり、先輩らの手足となって活躍したと見られる。

1898(明治 31)年竣工の本店と同じく、1909(明治 42)年竣工の水戸支店も著名な建築家：新家孝正に設計及び監督を依頼して完成させたのは水戸市に対する誇りと恩返しのようなものである。

{参考文献：読売新聞、「渋沢栄一伝記資料」第 4 巻第一銀行上棟式、川崎貯蓄銀行営業案内

(文・写真：八木司郎)

【お詫びと訂正】

前号 No. 168 の3 頁に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

タイトル 誤 茨城県水戸市の赤煉瓦建造物（ 2 ） → 正 茨城県水戸市の赤煉瓦建造物（ 3 ）

写真 誤 写真① → 正 写真②

誤 写真② → 正 写真①

編集後記：年度末で忙しいと言いつつ、高崎に蒸気機関車を見に行ってきました。天気が今ひとつだったためか、落ち着いて各車両を見ることがかない、贅沢な時間を過ごすことが出来ました。昨今、撮り鉄に対する風当たりが強いようです。これまでも撮影会などでもめ事を何度も目にしており、またかと思いつつ、変わらない状況に残念に感じています。周りを見つつ、少年、子供ファーストで、を頭に入れつつ、気をつけていこうとあらためて感じた一日でした。（久保）

東京産業遺産学会事務局
撮影

（注） 撮影者名のない写真は編集担当

中川洋 〒116 - 0014 荒川区東日暮里 2-25-13-501 号 （入・退会担当）

FAX 03 - 3891 - 2001 e-mail : ocean.yoh01@gmail.com

久保健 〒359 - 0021 所沢市東所沢 2 - 53 - 24 （編集担当）

TEL:090-4427-1120 e-mail : kubo0313@jcom.home.ne.jp

※本ニュースレターの著作権等は著作者にあります。利用される方は許諾を得たうえでお願いします。